

## フィリピン共和国

## 主要データ

国名〔英名〕	フィリピン共和国 [Republic of the Philippines]
面積(km <sup>2</sup> )	300,000
海岸線延長(km)	36,289
人口(百万人)	105.7
人口密度(人/km <sup>2</sup> )	352.4
GDP(百万 US\$)	250,436
一人当り GDP(US\$)	2,614
主要鉱産物：鉱石	金、銀、銅、ニッケル、亜鉛、クロム
主要鉱産物：地金	銅、亜鉛、セレン
鉱業管轄官庁	環境天然資源省(Department of Environment and Natural Resources: DENR)
鉱業関連政府機関	鉱山地球科学局(Mines and Geosciences Bureau: MGB)
鉱業法	1995年フィリピン鉱業法(共和国法第7942号) 2012年フィリピン大統領令(Executive Order 79号)
ロイヤルティ	-
外資法	1987年オムニバス投資法(共和国法第226号) 1991年外国投資法(共和国法第7042号) 1995年特別経済区法(共和国法第7916号)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	-
鉱業公社	フィリピン鉱山開発公社(PMDC: Philipinnes Mining Development Corporation)
鉱業活動中の民間企業	Philex Mining Co.、Atlas Consolidated Mining and Development Co.、Nickel Asia Co.、住友金属鉱山株式会社、大平洋金属株式会社、Glencore Xstrata
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	地方政府による鉱業モラトリアムが発令される複数の事例が近年発生
2012年のトピックス	2012年7月、新たな鉱業政策内容を示す大統領令(Executive Order、2012年7月6日付け大統領署名 No. 79)を発効。鉱業セクターからの政府収入の拡大、環境保護対策の改善及び鉱業に関連する国家法と地方法の調和などが狙い

## 1. 鉱業一般概況

- 2012年のフィリピンにおける鉱業投資額は7.92億US\$となり、2005年以降の過去最高額を記録した2010年の9.68億US\$には至らなかったが、前年比27%増の結果となった。金属鉱業総生産額は、小規模金採掘者に対する新税を課税したことが影響し、小規模金採掘者による生産量が大きく落ち込んだため、全体では前年比18%減となる1,007.99億PHP(約23.1億US\$)であった。一方ベースメタルの生産においては、主力となるニッケル鉱石生産において、既存鉱山の増産や①Sta. Cruz Candelaria ニッケル・プロジェクト(Eramen Minerals, Inc)、②HY ニッケル・クロ

ムプロジェクト(Sinosteel Phils. HY Mining Corporation)などの新規鉱山からの生産が開始されたことから、前年比9%増の631.99億PHP(約14.6億US\$)となった。さらにニッケル鉱石生産量は前年比7.9%増の34.5万tとなり、世界第1位の生産国となっている。

- ・ 2012年7月、フィリピン政府は、新たな鉱業政策内容を示す大統領令(Executive Order : E0、7月6日付け大統領署名 No. 79)を正式に発効した。同大統領令は、鉱業セクターからの政府収入の拡大、環境保護対策の改善及び鉱業に関連する国家法と地方法の調和などが狙い。さらに、同年9月、フィリピン環境天然資源省は、このE079号を実施するための施行規則(Implementing Rules and Regulations : IRR)を発効した。

- ・ 拡大する鉱業に対し、以前からのNGOなどの活動に加え、昨今、特に地方において環境問題を背景とした市民レベルのアンチ・マイニング感情が拡大する傾向が見られ、鉱業活動に対し地方政府による厳しい規制も執られるなどの投資リスクが表面化している。

Mindanao 島 Tampakan 銅・金鉱山開発プロジェクト(Xstrata 62.5%)は、プレFS調査では精測・概測・予測鉱物資源量合計21.8億t、平均品位Cu 0.591%、Au 0.231g/t、Mo 0.007%、開発費52億US\$、年産銅34万t、金35万oz(10.9t)、マインライフ20年を想定している。2009年Q3からFSを7,400万US\$の予算で実施し、2010年4月に結果を政府に報告した。政府からの許可等を受けた上で2012年開発開始、2016年フル生産を計画していたが、2010年10月の南コタバト州政府による露天採掘禁止措置のため、現在開発は進んでいない。露天採掘禁止措置発出後の動きとしては、本プロジェクト・オペレーター会社のSagittarius Mines社は、2011年10月に環境影響報告書を環境天然資源省に提出したが、この時点では、同省から不適合とされ、露天採掘を南コタバト州法に適合した方法の採用を求められた。これは、これまで中央政府が示してきた中央の方針は地方の決定に優先するという方針を中央政府が翻した形となった。2012年7月、中央政府と地方政府の政策・法律の矛盾の調整なども狙いとした新たな鉱業政策内容を示す大統領令(Executive Order : E0)が制定された後、状況が進展し、2013年2月、最終的に環境適合証明が中央政府より発行されるに至っている。一方で、南コタバト州知事は、環境上の理由から露天採掘を禁止する措置については依然として有効であり、取り消す予定もないとの見解を示しており、このような中、Sagittarius Mines社では、最終的な建設開始にはあと3件の地方政府からの許可が必要だとしていることから、今後この点をクリアすることが大きな課題となる。

さらに、北サンボアンガ州で鉱山採掘の禁止を内容とする州法が2011年11月から施行され、新たな露天採掘鉱山の開発の禁止と、既存露天鉱山の場合、施行から1年以内での閉鎖を求める内容となっていた。この州法により、Canatuan 銅・金鉱山の操業が影響を受けることとなったが、同鉱山を操業するTVI Pacific Inc(加)は、翌12月地方裁判所に、同鉱山への適用を差し止める申し立てを請求し、翌2012年に入り、地方裁判所はこの請求を認める判決を出すに至った。

また、2010年末にはフィリピン中央部のロンブロン州においても、鉱業活動による環境問題を懸念し、州内の鉱業活動を一時停止する州知事令を発している。

## 2. 鉱業政策の主な動き

### (1) 大統領令 No. 2012-79 (Executive Order : E0)

フィリピン政府は、新たな鉱業政策内容を示す大統領令(Executive Order : E0)を2012年7月に正式に発効した。同大統領令は、鉱業セクターからの政府収入の拡大、環境保護対策の改善及び鉱業に関連する国家法と地方法の調和などを狙いとしており、主な内容は以下のとおり。

- ・ 新たな鉱業権は、今後国会に提出予定となる、新ロイヤルティを含む鉱業に関する収入配分法案が国会を通過するまで一時凍結

- ・ 78 か所のエコ・ツーリズム地域及び包括的農地改革法に定める農業優先地域等での鉱業活動の禁止
- ・ 鉱業及び環境に関する法令による環境基準の完全かつ厳格な執行
- ・ 環境基準遵守のための環境天然資源省による現行鉱業活動の再調査
- ・ 環境天然資源省による既存鉱業契約条件の再評価と条件改定に係る契約先との再交渉
- ・ 新たな鉱業権付与プロセスにおける公開入札制度の導入
- ・ 休廃止鉱山の未採掘鉱石及び鉱滓中の有価資源は政府が所有権を有するものとし、その開発は公開入札制度を通じ実施
- ・ 鉱物資源の高付加価値化政策に関し、政府は、業界関係者等との協議の下、6か月以内にプログラム及びロードマップを策定
- ・ 鉱業調整評議会(Mining Industry Coordinating Council)を設置し、設置後 60 日以内に、同大統領令を実施するために必要な事項等のワークプランを策定
- ・ 小規模採掘による金、銀、クロムの採掘禁止及びその他の鉱物に係る事業区域の大幅な規制並びに水銀使用の禁止
- ・ 本大統領令発効後 6 か月以内の鉱業関連申請・手続きのためのワン・ストップ・ショップの創設
- ・ 採取産業透明性イニシアティブ(Extractive Industries Transparency Initiative : EITI)への参加による業界の透明性の向上
- ・ 鉱業界向け鉱業関連情報集中データベースの創設
- ・ 内務・地方政府省による地方法と国家法の調整

### (2) 環境天然資源省令 (DAO No. 2012-7 及び改正令 DAO No. 2012-7-A)

同じく 2012 年 9 月、環境天然資源省は、E0 2012-79 号を実施するための施行規則 (DAO No. 2012-7 : Implementing Rules and Regulations (IRR)) を発効した。同 IRR の規定により、ロイヤルティは現行の 2% から 7% へと引き上げられ、鉱山活動の具体的な禁止地域は、国家地理資源情報庁 (National Mapping and Resource Information Authority : NAMRIA) と鉱業調整評議会 (Mining Industry Coordinating Council) が、観光省及び農業省など関係機関と調整し、最終的な区域の地図・リストを作成する。ロイヤルティに関しては、既存の鉱業権所有者は、現在の許可の更新時に新たな率が適用される。鉱山活動の禁止地域には、E079 号で示されていた国が指定する観光地域に加え、地方が開発を進める地域なども加わる予定。また、環境保護の主管は、従来の鉱山地球科学局 (Mines and Geosciences Bureau : MGB) から、環境管理局 (Environment Management Bureau : EMB) に移管され、EMB が管理・監督を実施し、今後、調査の上、違反者には厳しい罰則を科すこととしている。なお、9 月に公布された当初 IRR (DAO No. 2012-7) に関し、いくつかの規定に違法性があるという業界からの指摘があったが、その一つ、第 9 条では、既存の鉱業契約に関し、当初契約期間の 25 年が経過後、政府が契約条件の再交渉を実施できるとしているが、現鉱業法第 23 条では、新たな 25 年を同一条件で更新する規定となっている点などの指摘があった。これを受け、10 月 8 日付けで他の指摘箇所の修正も含む改正 IRR (DAO No. 2012-7-A) が発効されている。

### (3) 探鉱許可受付の再開

環境天然資源省は、休眠鉱区を確認する目的などのため 2011 年 1 月以降全ての鉱業許可発行を凍結していたが、同省令 No. 2013-11 を発効し、2013 年 3 月から探鉱許可申請の受付を再開した。再開されたのは探鉱許可 (Exploration Permit : EP) 及び資金・技術支援協定 (Financial or Technical Assistance Agreement : FTAA) に基づく探鉱申請で、鉱物生産分与契約 (Mineral Production Sharing Agreement : MPSA) などは、E0 2012-79 号により鉱業に関する収入配分法案が国会未通過となっているため、今回の再開対象とはなっていない。鉱山地球科学局によれば、この再開以降 2013 年 5 月までに 224 件の申請を受理した模様。

## (4) 鉱業権申請手数料の変更

E0 2012-79 号の政府収入の拡大策の一環として、環境天然資源省令 No. 2013-10 により 2013 年 3 月から各鉱業許可申請に係る手数料が大きく引き上げられた。変更内容は次のとおり。

鉱業権申請手数料

区分	新	旧
Exploration Permit	PhP 300/ha (最低額 : PhP 200,000)	PhP 60/ha (最低額 : PhP 50,000)
Mineral Agreement	PhP 300/ha (最低額 : PhP 300,000)	PhP 60/ha (最低額 : PhP 50,000)
Financial or Technical Assistance Agreement	PhP 300/ha (最低額 : PhP 500,000)	PhP 60/ha (最低額 : PhP 100,000)

## 3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

## (1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2010 年	2011 年	2012 年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	59.3	63.8	66.5	4.1
亜鉛(千 t)	9.3	17.7	18.8	6.6
ニッケル(千 t)	184.3	319.4	344.5	7.9
金(t)	40.8	31.1	16.4	-47.4
銀(t)	41.0	45.5	70.1	53.9
クロム(千 t)	14.8	25.5	40.0	56.9

(出典 : World Metal Statistics Yearbook 2013)

## (2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2010 年	2011 年	2012 年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	176.0	164.1	98.4	-40.0
鉛(千 t)	34.0	34.0	34.0	0.0
セレン(t)	46.0	46.0	46.0	0.0
粗鋼(千 t)	1,050	1,200	-	-

(出典 : World Metal Statistics Yearbook 2013、Steel Statistical Yearbook 2012)

## (3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2010 年	2011 年	2012 年	対前年増減比 (%)
銅(千 t)	34.0	34.0	34.0	0.0
鉛(千 t)	37.0	34.8	38.0	9.1
亜鉛(千 t)	16.2	10.6	9.6	-9.7
錫(千 t)	0.1	0.2	0.1	-43.8
アルミニウム(千 t)	19.4	29.3	25.3	-13.8
ニッケル(千 t)	0.0	-	0.1	-
粗鋼	4,650	5,940	-	-

(出典 : World Metal Statistics Yearbook 2013、Steel Statistical Yearbook 2012)

## (4) 主要金属輸出入

表 3-4. 金属精鉱及び地金輸出入(マテリアル量)

鉱種	2010年	2011年	2012年	対前年 増減比 (%)	主な輸出相手国	HSコード
銅鉱 (千t)	292.3	343.3	224.7	-34.5	中国、スウェーデン、日本	260300
鉛鉱 (千t)	0.4	0.3	0.0	-100.0	-	260700
亜鉛鉱 (千t)	24.9	38.6	18.1	-53.1	韓国、ドイツ、日本	260800
ニッケル鉱 (千t)	13,160.2	14,959.5	28,675.9	91.7	中国、日本、豪州	260400
マンガン鉱 (千t)	4.9	3.3	0.3	-92.4	韓国、中国	260200
クロム鉱 (千t)	118.6	118.0	127.5	8.0	中国、マレーシア、インド	261000
希土類金属、スカンジウム及びイットリウム (t)	61.1	1.0	0.0	-100.0	-	280530
銀 (t)	28.4	30.5	25.6	-16.0	イタリア、日本、タイ	710610, 710691, 710692
金 (t)	922.6	122.0	67.9	-44.3	日本、スイス、台湾	710811, 710812, 710813
フェロクロム (千t)	0.0	0.1	0.0	-	-	720241, 720249
フェロニッケル (千t)	0.0	0.1	5.1	-	中国、ドイツ	720260
精製銅 (千t)	107.8	123.2	64.6	-47.6	タイ、中国、韓国	740311, 740319
アルミニウム (千t)	1.1	1.1	0.5	-51.5	日本、韓国、米国	760110
鉛地金 (千t)	0.1	0.0	0.0	-	-	780110
亜鉛地金 (千t)	0.1	0.1	0.0	-100.0	-	790111, 790112

(出典: Global Trade Atlas)

## (5) 主要金属輸入量

表 3-5. 金属精鉱及び地金輸入量

鉱種	2010年	2011年	2012年	対前年 増減比 (%)	主な輸出相手国	HSコード
銅鉱 (千t)	638.6	455.9	336.3	-26.2	イラン、豪州、インドネシア	260300
ボーキサイト (千t)	0.3	0.1	0.1	0.2	中国	260600
マンガン鉱 (千t)	0.0	0.0	0.0	-	-	260200
クロム鉱 (千t)	0.0	0.0	0.0	-	-	261000
チタン鉱 (千t)	2.7	1.7	1.9	9.7	タイ、インド、シンガポール	261400
希土類金属、スカンジウム及びイットリウム (t)	0.0	0.0	178.7	-	米国、韓国、スペイン	280530
セリウム化合物 (t)	2.0	83.8	63.2	-24.6	ドイツ、日本、シンガポール	284610
希土類金属の無機又は有機化合物(セリウム化合物除く) (t)	0.1	1.4	0.3	-78.9	日本、米国	284690
水銀 (t)	33.5	6.8	5.7	-14.9	米国	280540
コバルト酸化物・水酸化物 (t)	2.4	2.4	29.7	1139.4	中国、米国	282200
銀 (t)	2.3	39.6	3.7	-90.6	日本、米国、中国	710610, 710691, 710692
金 (t)	28.0	26.0	11.4	-56.2	日本、マレーシア、シンガポール	710811, 710812, 710813
フェロマンガン (千t)	2.4	3.8	3.9	1.3	インド、韓国、南ア	720211, 720219
フェロシリコマンガン (千t)	4.5	5.6	6.6	18.4	インド、ベトナム、インドネシア	720230
フェロクロム (千t)	0.2	0.4	0.3	-31.6	中国、スウェーデン、韓国	720241, 720249
精製銅 (千t)	7.7	10.0	9.6	-4.1	豪州、韓国、インドネシア	740311, 740319
アルミニウム (千t)	4.2	5.6	4.0	-27.8	マレーシア、U. A. E.、バレーン	760110

鉛地金 (千 t)	2.7	1.0	3.3	226.3	韓国、台湾、スイス	780110
亜鉛地金 (千 t)	16.3	10.7	9.6	-10.2	韓国、日本、カナダ	790111, 790112

(出典 : Global Trade Atlas)

## 4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覽

鉱山名	権益所有企業(権益 : %)	鉱種	生産量	備考
Padcal 鉱山	Philex Mining Co. (100)	銅(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	10,118t 2,218kg 2,106kg	2012年生産実績
Atlas Toledo (Carmen) 鉱山	Atlas Consolidated Mining and Development Co. (100)	銅(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	40,783t 426kg 3,430kg	2012年生産実績
Rapu-rape	LG Group International (42)、 Korea Resources Co. (28)、 Malaysia Smelting Co. Berhad (30)	銅(精鉱中含量) 亜鉛(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	7,760t 13,579t 2,016kg 35,575kg	2012年生産実績
Canatuan 鉱山 (Suple project)	TVI Pacific Inc. (100)	銅(精鉱中含量) 亜鉛(精鉱中含量) 金(精鉱中含量) 銀(精鉱中含量)	6,783t 5,980t 350kg 14,279kg	2012年生産実績
Rio tuba 鉱山	Nickel Asia Co. (60) (うち住友金属鉱山(25))、大平洋金属 (36)、双日(4)	ニッケル(鉱石中含量)	23,479t	2012年生産実績 Coral Bay Nickel Co. への販売分含まず
Taganito 鉱山	Nickel Asia Co. (65) (うち住友金属鉱山(25))、大平洋金属 (33.5)、双日(1.5)	ニッケル(鉱石中含量)	20,552t	2012年生産実績
Gagdianao 鉱山	Nickel Asia Co. (100) (うち住友金属鉱山(25))	ニッケル(鉱石中含量)	3,145t	2012年生産実績
Tagana-an 鉱山	Nickel Asia Co. (100) (うち住友金属鉱山(25))	ニッケル(鉱石中含量)	13,225t	2012年生産実績
Cagdianao 鉱山	Platinum Group metals Co.	ニッケル(鉱石中含量)	41,092t	2012年生産実績
Adlay-Cagdianao-Tandawa (ACT) Nickel Project	CTP Construction & Mining Co.	ニッケル(鉱石中含量)	27,603t	2012年生産実績
Carrascal Nickel Project	CTP Construction & Mining Co.	ニッケル(鉱石中含量)	28,338t	2012年生産実績
Tubay Ni-Co Project	SR Metal Inc.	ニッケル(鉱石中含量)	15,935t	2012年生産実績
Tandawa Ni Project	Shenzhou Mining Group Corp	ニッケル(鉱石中含量)	5,149t	2012年生産実績
Dahican Ni Project	CTP Construction & Mining Corp	ニッケル(鉱石中含量)	219t	2012年生産実績
Cantilan Ni Project	Marcventure Mining & Development Corp	ニッケル(鉱石中含量)	7,174t	2012年生産実績
Sta. Cruz Ni-Mn Project	Benguet Corp.	ニッケル(鉱石中含量)	18,672t	2012年生産実績
Berong 鉱山	Toledo Mining Co. (56.1) Atlas Consolidated Mining and Development Co. (25.2) European Nickel PLC (18.7)	ニッケル(鉱石中含量)	7,622t	2012年生産実績
Sta. Cruz-Candelana Project	Zambles Diversified Metals Corp.	ニッケル(鉱石中含量)	6,020t	2012年生産実績
Bel-at Ni Project	Oriental Synergy Mining Corp.	ニッケル(鉱石中含量)	2,966t	2012年生産実績
Tronto Ni Project	Cit nickel Mines & Development Corp. (100)	ニッケル(鉱石中含量)	32,813t	2012年生産実績
Urbiztondo Ni Project	Adnama Mining Resources Inc.	ニッケル(鉱石中含量)	20,498t	2012年生産実績
Sta. Cruz Mng Project	Eramen Minerals Inc.	ニッケル(鉱石中含量)	17,314t	2012年生産開始
Dinagat Cr-Ni Project	AAM-Phil Natural Resources E&D	ニッケル(鉱石中含量)	1,401t	2012年生産開始
H.Y.Ni-Cr Project	Sinosteel Philippines H.Y. Mining Corp	ニッケル(鉱石中含量)	485t	2012年生産開始
Dinagat Cr Project	Krominco Inc.	クロム(鉱石中含量)	10,685t	2012年生産実績
Homonhon Cr Project	Cambayas Mining Corp.	クロム(鉱石中含量)	25,944t	2012年生産実績

(出典 : Philippines Mines and Geosciences Bureaus 資料)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

名称	権益所有企業(権益: %)	鉱種・形態	生産量	備考
Pasar 製錬所	Glencore International AG (78.2)	銅カソード	98.4kt	2012年生産実績
Coral Bay HPAL Plant	住友金属鉱山(54)、三井物産(18)、 双日(18)、Rio Tuba Mickel Mining Co. (10)	ニッケル(ニッケル・コ バルト混合硫化物中含 量)	23,890t	2012年生産実績

(出典: Philippines Mines and Geosciences Bureaus 資料)

## 5. 探鉱状況

銅、ニッケルを中心に、プロジェクトが多数実施されている。主なプロジェクトは以下のとおり。

表 5-1. 主な探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト	企業	鉱種	場所(州)
Nonoc	Philnico Mining and Industrial Corp (比)	ニッケル、コバルト	Surigao del Norte
King King	St Augustine Gold and Copper Ltd(米)	銅、金	Mindanao
Hinoba-an	Copper Development Corp(英)	銅、金、モリブデン	Negros
Tampakan	Glencore Xstrata plc	銅、金、モリブデン	Mindanao
Mindoro	Intex Resources ASA(ノルウェー)	ニッケル、コバルト他	Palawan
Celestial	Toledo Mining Corp(英)	ニッケル、コバルト	Palawan
Agata	Mindoro Resources Ltd(加)	ニッケル、コバルト、 金、銅、鉄	Mindanao
Boyongan-Silangan	Philex Mining Corp(比)	銅、金	Surigao Del Norte
St Anthony	Solfotara Mining Corp(加)	銅、金	Luzon
Taysan	Crazy Horse Resources Inc(加)	銅、金、銀、鉄	Luzon
Basay	Copper Development Corp(英)	銅	Negros
Mankayan	Bezant Resources(豪)	銅、金、銀	Luzon
Romblon	Pelican Resources(豪)	ニッケル、コバルト、 鉄	Romblon(Sibuyan 島)
Comval	Mining Group Ltd.(豪)	銅、金、銀	Mindanao
Zambales Chromite	ENK plc(英)	ニッケル、クロム、 白金族、コバルト	Zambales
Tawi-Tawi	Solfotara Mining Corp(加)	銅、金	Luzon
Kilong-Olao	Solfotara Mining Corp(加)	銅	Luzon
Pan de Azucar	Mindoro Resources Ltd(加)	銅、金、銀、鉄	Iloilo
Kalayaan	Philex Mining Corp(比)	銅、金	Surigao del Norte
Lingig	Medusa Mining Ltd(豪)	銅	Mindanao

(出典: 各社 HP、アニュアルレポート)

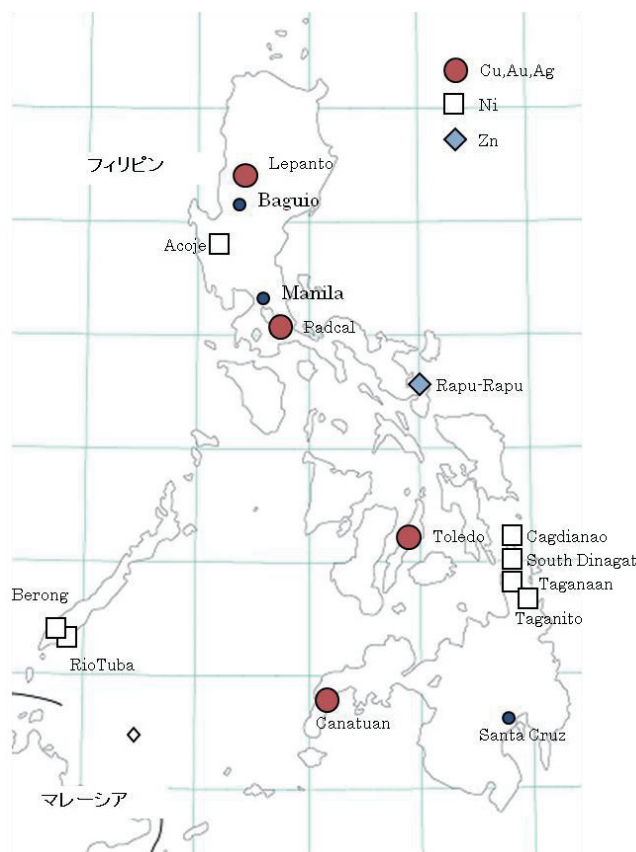


図 1. 主要鉱山、探鉱プロジェクト位置図

## 6. 我が国との関係

### (1) 日本への輸出

表 6-1. 日本への精鉱及び地金輸出力

鉱種	2010年	2011年	2012年	対前年増減比(%)
金地金 (t)	0.4	0.7	0.3	-56.8
銀地金 (t)	2.0	7.8	10.9	39.8
クロム鉱石 (t)	10,055.0	10,795.0	—	—
錫地金 (t)	29.4	143.4	76.1	-46.9
タングステン地金 (t)	2.2	1.9	—	—
銅鉱石 (千t)	72.0	66.2	38.7	-41.5
銅地金 (千t)	0.9	3.7	—	—
粗銅及びアノード (千t)	—	—	—	—
ニッケル鉱石 (千t)	1,301.4	717.9	1,507.5	110.0
酸化ニッケルその他中間生産物 (千t)	36.6	43.0	47.1	9.6
マンガン鉱石 (t)	62.0	41.0	—	—
白金族金属 (kg)	372.0	216.0	315.4	46.0

(出典：財務省貿易統計)

### (2) 日本企業による投資状況等

- ・ 住友金属鉱山が主体となっているパラワン島 Coral Bay HPAL 第2号プラントが、2006年3月の着工以来3億700万US\$の予算で2009年4月竣工、稼働を開始した。現在のニッケル・コバルト混合硫化物の年産能力はニッケル純分2.4万t、コバルト1,500t。
- ・ 同じく、住友金属鉱山は、ミンダナオ島 Taganito 地区に、2つ目となる HPAL プラントの建設を



2010年3月に着工した。投資総額13億US\$、年産能力ニッケル3万t、コバルト2,600tを生産する予定であり、稼働中のCoral Bay HPALプラントと合わせて、5.4万tのニッケル原料をフィリピンで確保する。2010年9月には、Taganitoプロジェクトに三井物産とNickel Asia Co. (NAC)が出資参画することで合意、両社参画後の出資比率は、住友金属鉱山62.5%、Nickel Asia Co. 22.5%、三井物産15.0%となる。当初、2013年3月に工事完了の見込みであったが、2011年10月に発生した武装勢力によるTaganitoニッケル鉱山の襲撃によって設備等の被害を受けたため、工期に若干の遅れが生じ、現在の見込みでは2013年秋に完成の予定である。また、投資額も15.9億US\$に増額の見込みとなった。

- ・ また、住友金属鉱山は2009年8月、NACへの出資比率を25%に引き上げており、フィリピンで6カ所のニッケル鉱山権益を所有するNACの同社プロジェクトへの参画、連携により、同国のニッケル事業をより強固なものにする。

## 7. その他トピックス

特になし。

(2013. 7. 30 ジャカルタ事務所 高橋健一)